

令和2年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和3年3月1日
幼稚園型認定こども園宇宿幼稚園

- 1 本園の教育目標
心豊かでしなやかに、生かされて生きることに基づき、感謝する園児を育成する。
- 2 本年度重点的に取り組む目標・計画
幼稚園教育要領及び本園のまことの保育を踏まえ、一人一人を大切にされた質の高い教育の実践を行う。
- 3 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	園内研修を充実させ、教育内容の質を向上させる。	A	県大会の問題提起園となり、研究テーマに基づく研修を充実させ、10の姿や主体的・対話的で深い学びについての理解が深まった。
2	日々の保育活動を充実させ、心身ともにたくましく感性豊かな子どもを育てる。	A	様々な制約がある中で、最大限の効果を生み出すために、日頃の地道な実践に努めることができ、そのことが子どもたちの成長につながった。
3	子どもの様子が分かるような説明や広報に努める。	B	本年度は、ホームページの更新は随時行うことができたが、保護者にも評価委員にも十分な保育参観を実施することができなかった。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4 総合的な評価結果

評価	理由
B	コロナ禍においても、三密を避ける環境構成に努めながら、子どもたちが楽しい園生活を送ることができるような保育を進めることができた。来年度は、これまでの行事や保育内容を見直し、新しい生活様式を踏まえた園運営に努めていく。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	研究・研修	本年度の研究を踏まえ、自らの資質向上のために課題解決に取り組む。また、短時間でも継続的な研修ができるようにしていく。
2	家庭との連携	ポートフォリオは今後も継続し、子どもの様子を写真を通して伝えていくが、お便り帳による子どもの様子の伝え方については工夫が必要である。
3	特別支援教育の推進	巡回相談や個別の教育相談の機会を有効に活用し、全職員で情報を共有しながら個々の特性に応じた保育に努める。

6 学校関係者評価委員会の評価

4段階評価（4とても良い 3良い 2良くない 1とても良くない）で実施。

- (1) 本園のランドデザインについては、全ての委員から「とても良い」の評価をいただいた。
来年度は、さらに重点を明確化させたランドデザインにしていく。
- (2) 本年度の園運営については、コロナ禍でも消毒等に気を付けながら、いろいろな行事を適切に実施していると、平均3.4の評価をいただいた。
- (3) 学校評価についても、平均3.4の評価をいただいた。
本年度は評価委員による保育参観が実施できずに、一年間の行事や保育の様子を写真でお見せして評価の参考にしていただいたが、来年度は、保育参観を設定し、具体的な子どもの姿を通して評価ができるようにしていきたい。
- (4) 宇宿幼稚園の教育内容については、平均3.8の評価をいただいた。
「ポートフォリオの取組は継続してほしい。」「子どもたちがのびのびと遊ぶ姿に癒やされている。」などのご意見をいただいた。本年度は、コロナ関係で地域の行事に参加することもなく、門徒さん方とのふれ合いもできなかった、来年度は実施できることを期待したい。